

(案)

八潮公マネ委発第 号
令和 8 年 月 日

八潮市長 大山 忍 様

八潮市公共施設マネジメント推進委員会
委員長 松本 暢子

八潮市公共施設マネジメント基本計画について（答申）

令和 7 年 5 月 3 0 日付け八潮ア第 5 2 号で諮問のあった「八潮市公共施設マネジメント基本計画及び八潮市公共施設マネジメントアクションプランについて」、当委員会において慎重に審議した結果、次のとおり答申します。

答 申

八潮市公共施設マネジメント基本計画は、施設を長く使い続けるため、また、老朽化する建物や施設の改修・更新するための方向性などについて、計画期間の 3 0 年間の基本的な方針を示したものであり、1 0 年ごとに見直すこととされています。

この度の改定版策定にあたっては、基本計画に基づくこれまでの取組を振り返り、人口動態やニーズの変化などを考慮して、今後の計画期間の取組内容へ反映したものとなっています。

当委員会において慎重に審議した結果、本計画改定版の内容につきましては、妥当であると考えます。

なお、今後の取組にあたっては、以下の点に留意され取り組まれることを望みます。

- 1 公共施設の適正な配置や規模について検討する際は、将来的な人口減少や地域ごとの人口構成の動向を見据えながら、近隣自治体との広域利用や地域の実情も踏まえ、居住地域にかかわらず必要な行政サービスが将来にわたって維持されるよう取り組まれることを期待します。
- 2 公共施設の再配置や再整備、統廃合を行う場合、その影響が市民生活に大きく関わることから、計画づくりの段階から市民の声を把握することに努めるとともに、再編の考え方や事業の進捗、将来の方向性についてわかりやすく発信し、市民の

(案)

理解を得ながら取り組まれることを期待します。

- 3 公共施設の機能の共有については、民間施設など既存ストックを有効に活用する柔軟な発想を取り入れながら、市民にとって利用しやすく、地域に親しまれる施設づくりにつながるよう積極的な検討を期待します。
- 4 魅力あるまちを形成するため、新たな公共施設を整備する際は、公共施設が「利用してみたい」「また訪れたい」と思える身近で魅力ある場所となるよう、イベントなどを通じて気軽に施設に親しむ機会を増やし、その機会を生かした情報発信に努められることを期待します。これにより、公共施設が果たす役割や必要性が広まり、より多くの人に利用される施設となることを望みます。
- 5 公共施設を将来にわたって安心して利用できるよう、計画的な点検や適切な時期での改修を進め、将来の財政負担の軽減につなげられることを期待します。また、PPP・PFI など民間の力を活用しながら、市民サービスのさらなる充実を図るとともに、施設の維持管理に必要な費用の負担のあり方についても、市民の理解が得られるよう丁寧な検討が進められることを望みます。